

## 日本スポーツ振興センター（JSC）が整備する競技会場

施設名	対応状況	木材利用 見込量	木材利用の方向
新国立競技場	着工済	約2,000 m <sup>3</sup>	屋根の構造材にハイブリッド材を使用（木材＋鉄骨） 建物外周の軒庇に木材を使用 内装の木質化

## 東京都が整備する主な競技会場

施設名	対応状況	木材利用 見込量（※）	木材利用の方向
有明アリーナ	着工済	約 800 m <sup>3</sup>	屋根の構造材にハイブリッド材を使用（木材＋鉄骨） 内装の木質化
東京 アクアティクスセンター		約 15 m <sup>3</sup>	内装の木質化
海の森水上競技場		約 40 m <sup>3</sup>	内装等の木質化
カヌー・スラロームセンター		—	管理棟の内装で木材を使用
有明テニスの森公園 テニス施設		約 430 m <sup>3</sup>	インドアコート屋根構造材に木材を使用
大井ふ頭中央海浜公園 ホッケー競技場		—	スタンド棟の内装で木材を使用

※利用見込量は精査中

## 大会組織委員会が整備する主な競技会場等

施設名	対応状況	木材利用 見込量	木材利用の方向
選手村ビレッジプラザ	実施設計完了 (使用木材について 地方自治体を対象に公 募)	約 1,500 m <sup>3</sup>	ビレッジプラザは、日本の伝統・文化を体感できるような木造とする。仮設であるため、全国の地域から提供された木材を利用して建設し、大会後は地域で再利用するスキームとしている。
有明体操競技場	着工済	約 2,300 m <sup>3</sup>	屋根の大梁、外壁等に木材使用を予定。その他、コスト・効果を検証して発注仕様を決定

## 選手村の宿泊棟

施設名	対応状況	木材利用 見込量	木材利用の方向
宿泊棟（住宅棟14～18階 建）21棟	着工済	—	床材や建具で木材を使用